

医局だより



超緊急帝王切開シミュレーション

こんにちは！

珍しくも、月末ギリギリに作り気味の医局だよりを月初めに作ってみました！
なぜかという、他に差し迫った少し面倒な仕事があるからです！要は、試験前に掃除がしたくなるやつです。

これには心理学で「先延ばし行動」と名前までついているそうです。セルフ・ハンディキャッピングといって予想される失敗への言い訳を作るために、自分にとって不利となる活動をする、という心理から生まれる行動だそうです。つまり、私の差し迫った少し面倒な仕事は失敗するらしいです！

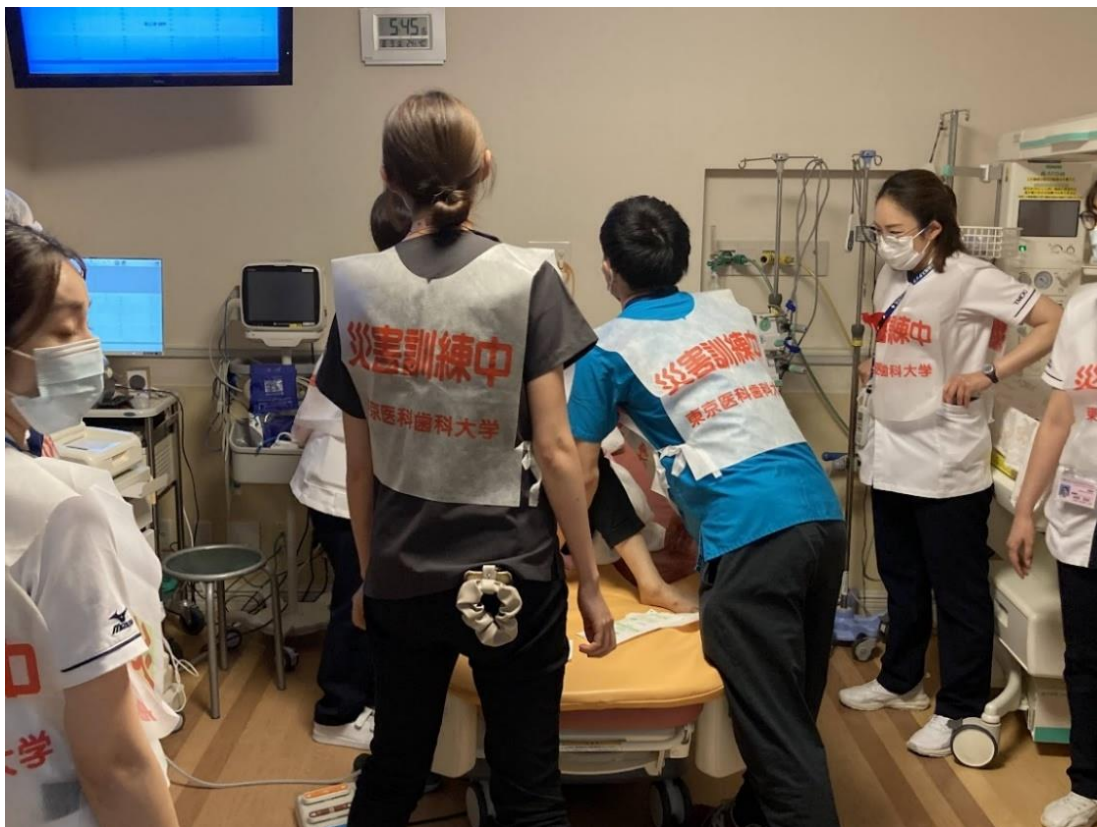
それはさておき、今回は8月の超緊急帝王切開シミュレーション、つまりGrade Aシミュレーションの内容をご紹介します。死戦期帝王切開のシミュレーションは2023年2月号で、スーパー母体搬送シミュレーションは2022年6月号で紹介し、どちらも結構前ですが行っていました。Grade Aシミュレーションは2018年7月号での紹介ぶりだったのでかなり久しぶりでした。スタッフの入れ替えもあり、シミュレーションの経験のない先生も多くなっていました。今回も、産婦人科、看護師・助産師、麻酔科、手術室、小児科など参加していただき、また今回は薬剤部にもご参加いただきました！

まずみんなで集合して打合せをします。臍帯脱出でGrade A帝王切開が必要な症例でのシミュレーションでした。



シミュレーション開始です。赤ちゃんの心拍の異常で当直医が呼ばれます。





Grade A 宣言をし、大急ぎで手術室への移動を進めます。





妊婦役は堀口先生です！動画撮影係として無着先生も走ります！





手術室到着です。早くも準備が進められており、あっという間の入室です。





麻酔科による管理が始まり、写真向かって右側では小児科も準備します。





執刀開始のタイミングまでシミュレーションをしました。終わった後は早速の振り返りです。今回も、コマンダーの素早く的確な指示の重要性がよくわかりました。反省点も複数出ましたが、実臨床での Grade A でもシミュレーションと同様の流れで遅滞なくできている、とシミュレーションの有効活用を再確認できました。今回、私が振り返りで勉強になったのは、Grade A では大声が飛び交い患者さんは怖かったと感じるとの意見でした。いかに早く手術を開始するかが最も重要ではあるものの、患者さんへの配慮・声掛けをどこかのタイミングで思い出したいと感じました。



最後は、毎回シミュレーションで撮っております、迫力あるパノラマ写真で締めたいと思います！パノラマ写真の撮影の腕も上がってきました。

それではこれから、差し迫った少し面倒な仕事を、失敗しないようにがんばります！また是非医局だよりを見に来てください！

2024 年 9 月 2 日

文責：廣瀬 明日香